

オーストラリアレポート

豪州の2019年第4四半期の実質GDPは景気の堅調さを示唆

- 2019年第4四半期の豪州GDPは前期比+0.5%、前年同期比+2.2%と市場予想を上回る。
- 民間消費の回復が豪州景気を下支え。所得税減税の還付金の効果とみられる。
- 消費者の消費余力が増すなか、民間消費が底堅さを取り戻す。
- 新型コロナウイルス等からGDPの減速が見込まれるも、協調緩和策により底割れは回避か。

2019年4四半期の豪州GDPは市場予想を上回る

豪州の2019年10-12月期の実質GDP（国内総生産）成長率は前期比+0.5%、前年同期比+2.2%となり、市場予想（前期比+0.4%/前年同期比+2.0%）を上回りました（図表1）。

今回のGDP統計では、森林火災や新型コロナウイルスの問題が深刻化する以前の豪州経済が、金融緩和や所得税減税などの政策を追い風に底堅い景気回復へ転換しつつあったことが確認されました。

民間消費の底堅い回復が豪州景気を下支え

2019年10-12月期は、特に民間消費の回復が豪州景気の下支えに寄与しました。10-12月期の実質GDP成長率（前期比+0.5%）のうち、民間消費だけで+0.2%の寄与となりました（図表2）。

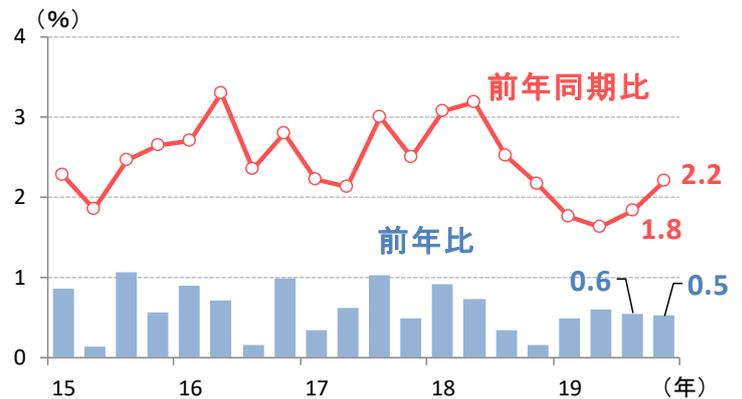
2019年10-12月期の民間消費が堅調な回復を示した背景には、2019年7月から実施された所得税減税の効果があるとみられます。

豪州の家計は2019年7-9月期に所得税減税の還付金を受け取ったものの、消費に対する慎重姿勢から多くの還付金が貯蓄へ回されました（貯蓄率が4.8%へ上昇、図表3）。減税により潜在的な消費余力が増すなか、2019年11月末のブラックフライデー以降の年末商戦を契機に民間消費が底堅さを取り戻したと考えられます。

協調緩和策で豪州景気の底割れは回避されるか

2019年10-12月期のGDPでは、森林火災や新型コロナウイルスなどの特殊要因がなければ、豪州経済は底堅さを維持していることが示されました。新型コロナウイルスの感染拡大などから2020年1-3月期のGDPは減速する公算が高いなか、豪州政府・中央銀行の協調的な景気刺激策などにより景気の底割れが回避されるか否かに注目が集まりそうです。

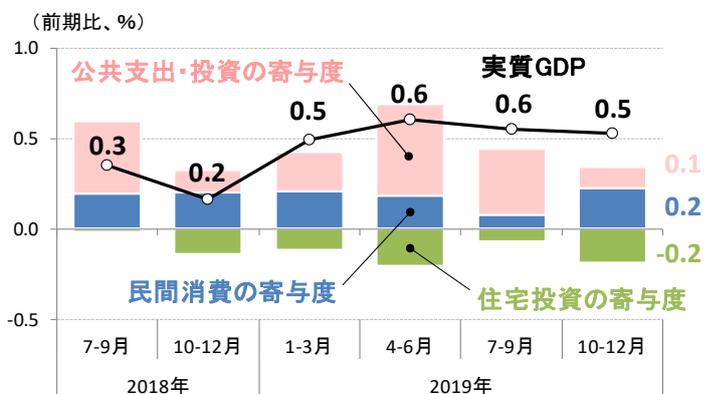
図表1：豪州の実質GDP成長率の推移



(出所) 豪州政府統計局 (ABS)

(期間) 2015年1Q~2019年4Q (四半期)

図表2：豪州の実質GDP成長率の主な内需寄与度



(出所) ABS

(期間) 2018年3Q~2019年4Q (四半期)

図表3：豪州の家計貯蓄率の推移



(出所) ABS (注) 家計貯蓄率は貯蓄額を可処分所得で割った比率。

(期間) 2016年1Q~2019年4Q (四半期)

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、レグ・メイソン・アセット・マネジメントの情報を基に、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>